

# 「G20農業・水大臣会合」の開催 <2020年9月12日(土)>

【日時】 9月12日(土)20:00～23:25

【形式】 Web会議

【日本の出席者】

水分野： 佐々木 国土交通大臣政務官

農業分野： 江藤 農林水産大臣

【参加国(G20)】 日本、サウジアラビア(議長国)、アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、中国、欧州連合(EU)、フランス、ドイツ、インド、インドネシア、イタリア、メキシコ、韓国、南アフリカ、ロシア、トルコ、英国、米国

【招待国】 ヨルダン、ルワンダ、シンガポール、スペイン、スイス、UAE、ベトナム

【国際機関】 FAO(国連食糧農業機関)、OECD(経済協力開発機構)、WBG(世界銀行グループ)、WFP(国連世界食糧計画)、WHO(世界保健機関)、UN-Water(国連水関連機関調整委員会)等

## <会合の結果>

- サウジより発案され、日本としてもその重要性を主張した結果、G20閣僚級会合としては、**初めて、水問題の包括的な議論**を実施
- 「G20農業・水大臣コミュニケ」については、**引き続き調整**を行うこととなった。

## <我が国からの発信>

- 佐々木政務官より開会挨拶 (前年議長国として)
  - 水問題を包括的に議論する本会合の意義を述べるとともに、気候変動を踏まえた**水災害リスク低減等の重要性**や、熊本で開催予定の**第4回アジア・太平洋水サミット**等言及
- 各国発言の機会には、**佐々木政務官より日本の取組として「水循環政策」や「水防災」**に関する施策を発信
  - **水循環**：水循環政策本部や**水循環政策担当大臣**を置き、政府一体となり、**水循環に関する施策を集中的かつ総合的に推進**。本年6月には**水循環基本計画を改定し、流域マネジメント**等の取組を強化
  - **水防災**：気候変動を踏まえ、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う**「流域治水」への転換**を図り、氾濫域も含めて一つの流域と捉え、**氾濫抑制、被害対象の減少、被害の軽減、早期復旧・復興のための取組**を進め、**防災・減災が主流**となる安全・安心な社会を構築



佐々木政務官による開会挨拶



Web会議形式での会合参加の様子